



各 位

平成30年11月7日

会社名 住友大阪セメント株式会社  
 代表者名 取締役社長 関根福一  
 (コード番号 5232 東証第1部)  
 問合せ先 総務部長 神村 純  
 (TEL 03-5211-4505)

平成31年3月期第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成30年5月10日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成31年3月期の通期業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成31年3月期 第2四半期累計期間業績予想と実績との差異(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1)連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	123,300	7,400	7,850	5,080	128.06
実績値 (B)	120,911	5,920	7,541	2,359	59.48
増減額(B-A)	△ 2,389	△ 1,480	△ 309	△ 2,721	
増減率(%)	△ 1.9	△ 20.0	△ 3.9	△ 53.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	117,495	8,420	9,959	6,748	166.27

(2)個別

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	78,500	5,900	6,500	4,070	102.60
実績値 (B)	76,635	4,709	6,184	1,312	33.10
増減額(B-A)	△ 1,865	△ 1,191	△ 316	△ 2,758	
増減率(%)	△ 2.4	△ 20.2	△ 4.9	△ 67.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	74,566	6,874	8,388	5,560	137.01

(3)差異の理由

セメント事業における石炭等の価格高騰の影響などにより営業利益が公表値を下回ったことに加え、電池材料事業において減損損失22億円を特別損失に計上したことなどから、四半期純利益についても前回公表を下回りました。

2. 平成31年3月期 通期業績予想の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(1)連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	255,000	20,000	20,650	14,000	352.93
今回修正予想(B)	252,500	16,000	17,550	8,550	215.54
増減額(B-A)	△ 2,500	△ 4,000	△ 3,100	△ 5,450	
増減率(%)	△ 1.0	△ 20.0	△ 15.0	△ 38.9	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	244,826	18,990	20,153	14,659	361.20

(2)個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	163,100	15,650	16,550	11,000	277.30
今回修正予想(B)	161,700	11,800	13,150	5,700	143.69
増減額(B-A)	△ 1,400	△ 3,850	△ 3,400	△ 5,300	
増減率(%)	△ 0.9	△ 24.6	△ 20.5	△ 48.2	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	154,057	14,658	15,590	11,462	282.44

(3)修正の理由

第2四半期累計期間実績およびセメント事業における石炭等の価格高止まりが引き続き見込まれることなどから、通期業績予想を上記の通り修正することといたしました。

(注1) 当社は、平成30年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり利益を算定しております。

(注2) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以上